

(表中敬称略)

会議名	実務家教員育成研修プログラム開発部会（第1回）		
日 時	令和4年6月20日（月）13:30～15:00		
場 所	場所：オンライン（Zoom ミーティング）		
出席者（計11名）			
カテゴリ	所属（学校等・部門・部署）	役職	氏名
産	一般社団法人近畿建設協会技術部	部長	先本 勉
産	一般社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部	参与（中央復建コンサルタンツ株式会社）	◎田底 成智
産	西日本高速道路株式会社（関西支社）	構造担当部長	佐溝 純一
学（連携校）	長岡工業高等専門学校	准教授	宮寄 靖大
学（連携校）	福井工業高等専門学校環境都市工学科	准教授	樋口 直也
学（代表校）	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	○玉田 和也
学（連携校）	放送大学学園総合戦略企画室企画係	主任	上妻 賢太郎
事務局	福島工業高等専門学校	助教	浅野 寛元
事務局	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	特命助教	村山 達也
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子
事務局	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 園恵
事務局	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長	入江 正樹
◎：部会長，○副部会長			
議事次第			
1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也			
2. 部会長挨拶 （一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部 参与 田底 成智 様			
3. 実務家教員育成研修プログラム2022について（報告）			
・2022 年度開催概要と受講者			…… 資料1
4. 実務家教員育成研修プログラム評価委員会について（報告・審議）			
・実務家教員育成研修プログラム評価委員会開催要領			…… 資料2
・令和4年度第1回開催概要及び審議結果・改善方針（案）			…… 資料3
・専門教士（建設部門）付与制度実施要綱（案）			…… 資料4
・専門教士（建設部門）認定基準			…… 資料5
5. 意見交換			
・プログラム修了生の活用・活躍の場と所属企業・団体等のメリット			…… 資料6
6. まとめ			
7. その他（今後の予定，事務連絡等）			
			以上



写真1 舞鶴高専 玉田先生挨拶



写真2 田底部会長挨拶



写真3 オンライン参加者

実務家教員育成研修プログラム開発部会（第1回） 議事録

日時：令和4年6月20日（月）13:30～15:00

場所：オンライン（Zoom ミーティング）

1. はじめに 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也
2. 部会長挨拶 （一社）建設コンサルタント協会近畿支部 参与 田底 成智 様
3. 実務家教員育成研修プログラム2022について（報告）
 - ・2022年度開催概要と受講者 …… 資料1
 - ✓ プログラムの改善点、有料化による受講者の減少（2021年度15名⇒2022年度6名）と対応策（文科省職業実践力育成プログラム及び厚労省特定一般教育訓練給付への申請）について報告された。
4. 実務家教員育成研修プログラム評価委員会について（報告・審議）
 - ・実務家教員育成研修プログラム評価委員会開催要領 …… 資料2
 - ・令和4年度第1回開催概要及び審議結果・改善方針（案） …… 資料3
 - ・専門教士（建設部門）付与制度実施要綱（案） …… 資料4
 - ・専門教士（建設部門）認定基準 …… 資料5
 - ✓ 実務家教員育成研修プログラムの実施内容が適切と評価されたこと、及び、専門教士（建設部門）認定審査において15名が適格と認定されたことが報告された。
 - ✓ 評価委員会の審議結果を受けた改善方針（案）として、①高専機構本部との協議を進め、早期に該当制度を創設する、②受講者の選定は、現役の実務家であることを重視する、③課題提出物は、講習会毎に評価・フィードバックを行い改善に繋げる、が了承された。
5. 意見交換
 - ・プログラム修了生の活用・活躍の場と所属企業・団体等のメリット …… 資料6
 - ✓ 実務家教員という名称に馴染みがない。実務家教員という名称の知名度を上げることは本事業の課題でもある。
 - ✓ 本事業のようなものがない限り、実務家教員が所属企業と高専など学校と両方に籍を持つことは難しい。
 - ✓ 実務家教員は高専の非常勤講師などになることが目的ではなく、社会人教育に携わる人の養成を目指している。
 - ✓ 実務家教員育成研修の修了生は、東北大学のデータベースに人材登録できている。実務家教員の活躍の場をつくることを目的とした登録制度なので、今後は東北大学から情報提供等の

フォローがある。

- ✓ 修了生に付与される「専門教士（建設簿門）」の称号も公的な認定資格にしておくといい。今後の課題としてもらいたい。
- ✓ 高専の非常勤講師としての受け皿は少ない。実務家教員育成研修の修了者が溢れるだけになるのではないかな。
- ✓ 「専門教士（建設部門）」の称号があるかないかの違いを明確化する必要がある。
- ✓ 受講生を派遣する企業に対して、派遣のメリットを分かりやすく説明できる資料を用意する必要がある。
- ✓ 一般市民向けの教養講座なども活躍の場になるのではないかな。
- ✓ 今後、実務家教員の活躍の場をどうするかは人材開発部会で継続して考えていく。

6. まとめ

- ✓ 議事3について、今年度の実務家教員育成研修の受講者は少なかったが、来年度以降については増やしていきたい。今年度の講習会で昨年度から内容が変わったところは、後日の部会で示す。
- ✓ 議事4について、専門教士（建設部門）の付与制度は高専機構本部との協議を継続する。
- ✓ 議事5の意見交換について、今後のプログラム修了生の活躍の場については皆さんで継続して考えていく。

7. その他（今後の予定、事務連絡等）

以上